

西北五支部の活動報告

皆さんお疲れ様です。西北五支部の中田と申します。

少し日にちは過ぎてしまいましたが、今年2月に行った多職種連携研修会について報告させていただきます。

令和8年2月7日の土曜日、プラザマリュウ五所川原にて薬剤師、ケアマネージャー、介護関係者等合同での研修会を行いました。

この研修会は地域医薬品提供体制構築推進事業の一環として、多職種連携で「お試し訪問」を患者さんに提案し、その後の居宅訪問管理指導へとつなげることを目的としています。

ケアマネージャー協会の西北五支部長から、「お試し訪問」を進めていきたいという提案があり、それに賛同して今回は薬剤師会西北五支部が主催として去年からこの研修会の準備を進めてきました。

研修内容としては、薬剤師とケアマネージャーの代表者がこれまでの実務による居宅訪問の事例を報告し、お試し訪問や居宅療養管理指導を今後どう始めていくかについて改めて皆で共有していくといった流れで、参加者は約40名で研修会後の懇親会では情報交換もすることが出来ました。

過去にも薬剤師会で行った事業である「お試し訪問」を再度患者さんへ提供し、制度の雰囲気を知ってもらってから、その後の居宅療養管理指導へとつなげていきたい狙いがあります。

ケアマネージャー、介護関係者の皆さんの中には薬剤師に対して薬に関する困りごとを話すことを敷居が高いと感じている方が多いようですが、今回の研修会を通して、ぜひ気軽に相談して下さいとお伝えすることも出来たと思います。

本事業は短期間で終了するのではなく、今後も継続していくことが決まっているので支部の方で取り組んでいきます。

今回の研修会を行うにあたって、特にケアマネージャーの方々とは何度も打ち合わせをしてお互いの考えや今後の地域包括ケアシステムのあり方についても話すことが出来ました。

医療従事者の数が他の地域よりも少ない西北五地域では、お互いの顔が見える関係がより重要になるので、今後も定期的にこのような研修会を行っていきたいと考えています。